

チャレンジ鹿児島労働局（20年3月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町13-21

099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

2月の有効求人倍率は0.57倍と前月を0.01ポイント 下回る

鹿児島県の2月の有効求人倍率（季節調整値）は0.57倍（前月0.58倍）と、前月を0.01ポイント下回りました。また、新規求人倍率（季節調整値）は0.090倍と前月を0.02ポイント下回りました。

新規求人数は前年同月比3.6%の減で、再び減少に転じました。産業別では製造業（31.5%増）が3か月ぶりに増加に転じ、医療・福祉（7.5%増）が2か月連続で増加しましたが、建設業（21.3%減）が7か月連続、サービス業（7.4%減）が4か月連続、運輸業（3.3%減）は3か月連続で減少し、また卸売・小売業（12.1%減）、飲食店・宿泊業（14.5%減）も減少に転じました。

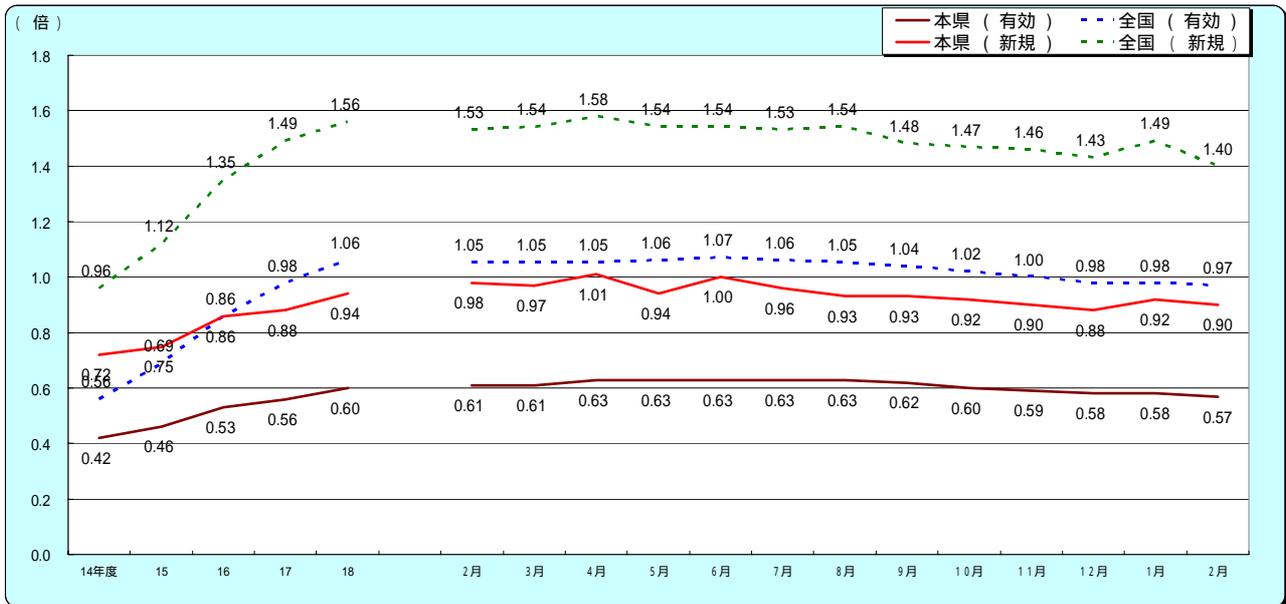
新規求職者数は前年同月比6.6%の増と増加しました。

新規常用求職者の態様別では在職求職者（19.4%増）は8か月連続で増加し、離職求職者（2.1%増）も4か月ぶりに増加に転じました。離職求職者の内訳では事業主都合離職者が減少し、自己都合離職者は増加しました。また、無業求職者（6.4%増）は3か月連続で増加しました。

今後の雇用失業情勢について、景気に停滞感がある中、新規求人の動向は不透明で、一進一退で推移するものと思われます。一方、新規求職者は在職者や団塊の世代を中心とした中高年齢者の求職活動が活発化するなど、やや増加傾向で推移するものと思われます。鹿児島労働局では今後も求人確保対策を中心に、求人情報の提供と職業相談の充実に努めてまいります。

（職業安定部職業安定課）

有効（新規）求人倍率の推移



建設雇用改善推進対策会議を開催

3月17日鹿児島県建設センターにおいて建設雇用改善推進会議が開催されました。

この会議は、本年度より建設労働者の雇用改善を着実に進めていくために、建設労働関係者が一体となった取組を更に促進することを目的に「鹿児島県建設雇用改善推進対策会議」として、鹿児島労働局が主催となって開催いたしました。

厚生労働省では、現在、平成17年10月から開始の第7次建設雇用改善計画が実施されているところであり、鹿児島労働局といたしましても、建設労働者の雇用の改善について、建設事業主をはじめ関係者の関心と理解を深め、雇用改善の推進を図ることを目的とした「建設雇用推進月間」を展開するなど、中央及び地方の各機関、団体を挙げての啓発活動を今後も実施してまいります。

（職業安定部職業対策課）

労働災害防止団体等代表者会議を4月11日に開催

平成20年度の労働災害防止対策の徹底を図るため、来る4月11日（金）に鹿児島市のKKRかごしま敬天閣において、県内の労働災害防止団体等の代表者の出席を求め、労働災害防止団体代表者会議を開催する予定です。

会議では、第11次労働災害防止推進計画の初年度に当たって、平成20年度の行政が取り組む重点事項の説明、各労働災害防止団体等における平成19年度の活動状況及び平成20年度の事業計画について、協議することとしています。



《昨年度の開催状況》

（労働基準部安全衛生課）

鹿児島地方労働審議会を3月10日に開催

3月10日（月）に鹿児島地方労働審議会を開催しました。

会議では、労働局から平成20年度の鹿児島労働局行政運営方針案、鹿児島労働局雇用施策実施方針案等について説明を行い、公益・労働者・使用者側代表委員から意見や要望をいただきました。

各委員からは、改正パートタイム労働法の周知方法、地域雇用対策、フリーター等の就業対策等についての意見・要望等が出されました。

これらの意見等を踏まえ、平成20年度の行政運営方針を策定し、雇用の格差の解消・働く環境の整備に取り組んでいきます。

（総務部企画室）